

**【日本学術会議 社会学委員会】 価値とイノベーションの創発による
新たな福祉社会システムの構築に関する分科会 議事録
(第 26 期 第 5 回)**

日時 : 令和 7 年 7 月 13 日 (日) 15:00~17:15

場所 : オンライン会議システム

出席者: 和気純子 広井良典 秋元美世 岩崎晋也 大和三重 金子光一 木下武徳
原田正樹 持丸正明 山田あすか 岩永理恵 木原活信 権藤恭之 山野則子
外部講師: 志村建一 (東洋大学)、横山登志子 (札幌学院大学)

欠席者: 熊谷晋一郎 住居広士 保正友子 空閑浩人 竹本与志人 湯澤直美

記録 : 木下武徳

<議題>

1. 開会の挨拶と議題の説明

- ・本日の会議は、外部講師として志村先生、横山先生を招いて行われる。
- ・永田先生、大和先生、志村先生、横山先生の 4 名から各 15 分の発題と 10 分の質疑を行う。
- ・その後、「報告」の作成に関する打ち合わせとシンポジウムの計画について議論する。

2. 4 人の研究報告

4 名の研究者による価値とイノベーションに関する発題をいただき、質疑をおこなった。

- 1) 永田委員報告 「縦割り型福祉システムからの脱却とガバナンス」
- 2) 大和委員報告 「外国人介護職員の受け入れと共生による新たな価値の創出に向けて」
- 3) 志村外部講師報告「福祉社会における新たな価値の創発と支援システムの構築」
- 4) 横山外部講師報告「ソーシャルワークにおけるジェンダー・センシティブ」

3. 今後の予定

1) 報告書作成について

- ・執筆を担当する委員のうち、未提出の委員に対して原稿提出を依頼。
- ・全体の構成とタイトルについて確認。特に、タイトルについては、「価値」という言葉の一般向けの説明不足を補うため、「福祉の価値」と明記することにした。
- ・各委員の専門性を生かしつつ、一貫したストーリーを持つ報告書としてまとめるため、今後とも連携して作業を進めることを確認した。

2) シンポジウム開催について

- ・シンポジウムの開催（前後に分科会も開催する）が可能となった。
- ・本「報告」の完成後に、本日発題した 4 名の先生の発表を中心として、報告書の内容を広く社会に発信するシンポジウムとして開催することで合意。
- ・日程は報告書の完成時期を考慮し、3 月をめどにオンライン形式を基本として調整を進める。

以上